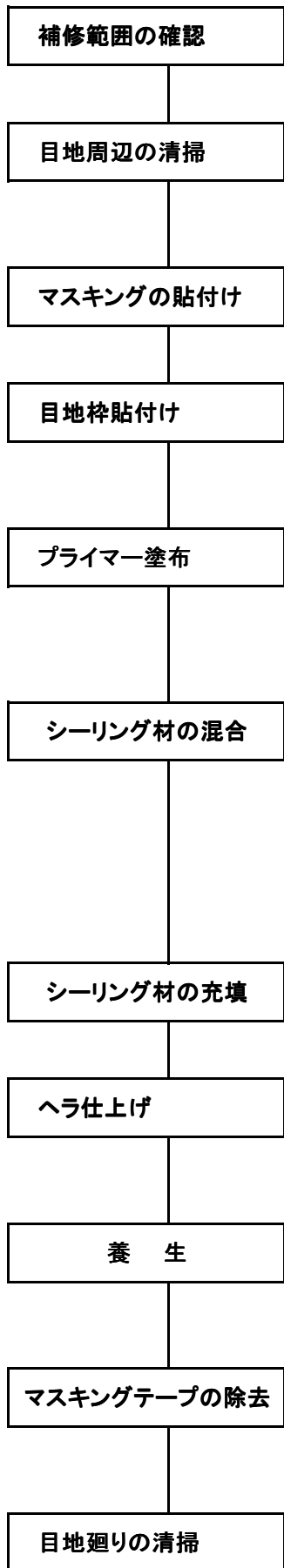


23 建具廻り目地の補修（シール打増し補修工法）

外壁建具廻り(窓枠、ドア枠)取合い目地の補修

施工手順

施工方法



- ・目視により劣化範囲を確認し、補修範囲を確定する。
- ・シール材の選定は、使用部位及び、目地の材質に適合した材料を選定する。

- ・ケレン後、ダスター刷毛で粉塵を除去後、溶剤拭きにより油分を除去する。
- ・目地底が湿潤状態の場合は、十分に乾燥してから施工する。

- ・テープ貼り位置は、シール材の被着面へ食込まない様に貼る。

- ・バックアップ材で新設シール材の打設幅及び厚さを確保する目地枠をバックアップ材を貼付け作成する。
※(目地の接着幅及び厚さは9mm以上とする。)

- ・プライマーは、刷毛で均一に塗布し、塗り残しがない様にする。
- ・プライマー塗布後、当日施工出来ない場合や、雨濡れした場合は、再塗布する。
- ・プライマー材:ボンドシールプライマー#9

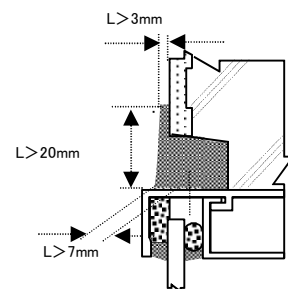
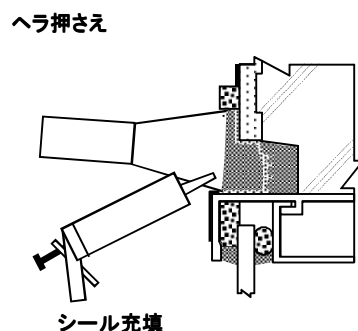
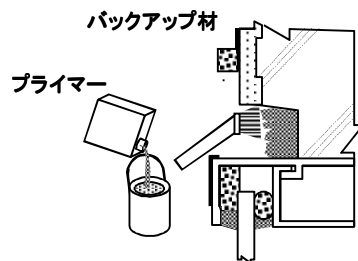
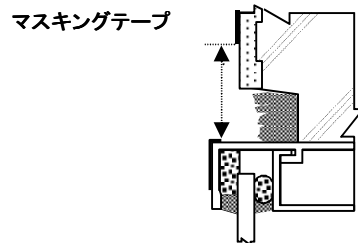
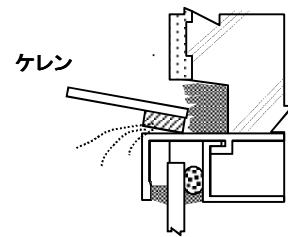
- ・専用混合機により、基材・硬化剤・カラーマスターが均一になるまで15分以上混合する。
混合不良を防止する為、容器の壁、底部の材料をヘラで掻き落とした後に再度、混練する。
- ・シール材:ボンドMSシール、

- ・混合したシーリング材をコーキングガンに詰めした後、目地底から気泡が入らない様に充填する。
- ・混合したシーリング材は、可使用時間内に使用する。

- ・シーリング材表面が指触乾燥前に、目地幅に合ったヘラで表面を平滑に仕上げる。

- ・シール材の硬化後、型枠材及びマスキングテープを除去する。

- ・マスキングテープよりはみ出した箇所は、周囲を汚染しない様に除去する。



完了